

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力

園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 平成28年3月24日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園



ご卒園おめでとうございます！

一人ひとりが輝いて！



3月15日(火)、やわらかな春の光に包まれる中、63名の子どもたちが、本園を巣立っていきました。

「僕は大きくなったら宇宙飛行士になりたいです。」「私は大きくな

たら幼稚園の先生になりたいです。」一人ひとりが自分の夢を抱いて、新たな世界へ力強く飛び立ちました。ご卒園、おめでとうございます。

幼児期は、4歳を中心として人格形成の基礎を培う重要な時期にあります。自分とは違う、他者の気持ちを理解したり、他者の存在(視線)が気になりだしたり、と同時に自分を意識しだすようになります。自我の芽生え、メタ認知の萌芽ともいわれ、子どもの世界は「ことば」を通して飛躍的に広がり、思考力もぐんと伸びます。

このときに大切なことは、「感情」です。「楽しい」「悔しい」「哀しい」などの感情に伴ったこれらの経験は、子どもたちにとって大きな「学び」となります。感情とともに子どもの内面に「学び」となって根づくのです。

なぜ、子どもたちは幼稚園が大好きなのでしょう。それは、いつもいっしょにいてくれる「せんせい」や「ともだち」がいるからです。楽しくて大笑いしたとき、悔

しくて大泣きしたとき、そばでそのことを理解してくれる存在がいるのですから。だから、子どもたちは日々、新しい世界を広げていけるのですね。子どもたちがいて、せんせいがいる…。素敵なお世界です。



保護者会の皆様

～ 一年間ありがとうございました。～

夏祭り、運動会、生活発表会、おわかれ会、など、園の行事にはいつも、陰に日向になって、ご尽力いただいているのが、西村晴雄会長様をはじめ、保護者会の役員の方々の皆さま、クラス委員の方々の皆さまです。ありがとうございます。

誰もがお忙しい中、子どもが喜ぶためなら、幼稚園のためならと、惜しみないご協力をお寄せいただきました。職員一同、いつも励みになりました。深く感謝しております。ありがとうございました。

保護者会と幼稚園との関係は、これまで綿々と引き継がれながらも、少しずつ、改善を図ってきています。

園としましても、これまでに固執することなく、よりよい「保護者会」をともに創り上げていきたいとの認識にたっております。

平成27年度が無事に終わることができましたことに、改めまして感謝申し上げますとともに、次年度も引き続き、よろしくお願いいたします。

～ 感謝の気持ちをこめて ～

年長さんにとって、3月9日(水)は、最後のお弁当の日でした。幼稚園での親子の思い出といえば、手作りのお弁当です。毎回手間をかけた愛情たっぷりのお弁当を作ってください、ありがとうございました。この日は、お弁当箱を洗って、そっとメッセージを入れました。お弁当箱を開けたときのお家の方の喜ぶ顔を思い浮かべながら、心を込めてメッセージカードを作った子どもたち。感謝の気持ちを伝えたい、相手を喜ばせたい、そんな心がしっかり育ってきています。

幼稚園の先生方一人ひとりにも最後のごあいさつをして回りました。「ありがとうございました。小学校に行っても頑張ります！」目を潤ませながら子どもたちの成長に感動する先生方の姿がありました。

